

発行日:平成 29 年 11 月 1 日(四半期発行)
介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙
〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3
TEL:045-858-5882
発行責任者:吉田憲一

第14回 ケアポート・田谷お祭り 心に残る思い出を

田谷祭り実行委員長:橋和豊

な気候の中で無事開催できました。日が落ちると少し寒さも気になる時期ではありましたが、参加頂きました皆様はいかがでしたでしょうか?

さて、お祭りのお楽しみといえば毎年好評頂いている屋台での食事があるかと思います。ご利用者も普段の食事にはないメニューを楽しみにされていたのではないでしょうか。今年は新メニューとして昨年のお好み焼きに変わり提供した「揚げタコ」、いかがでしたでしょうか?私も食べてみましたが味も良かったですし、またたこ焼きとは違ってかわいらしくタコをデザインした形も良かったのではないかと思います。

そしてもう一つの新メニュー「まきまきクレープ」。昨年から時期的にデザートのかき氷に替わってソフトクリームとともに提供しました。イチゴとチョコのソースを加えて甘味処として提供しましたが、いかがでしたでしょうか?そしてマイナーチェンジになりますが、昨年から復活した「おでん」の中に今年はこんにゃくを入れました。こんにゃくというとどうしても高齢の方には喉に詰まってしまうのではというイメージがあるかと思いますが、今回提供したものは味はもちろんこんにゃくで、舌でも潰せる様に仕上げてあり、噛んだり飲み込む力が弱っている方も含め、たくさんの方に召し上がって頂けたんではないかと思います。

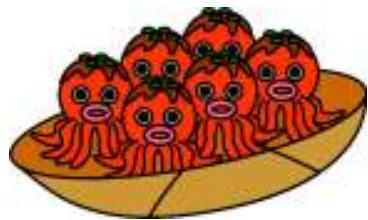
そして、ケアポート・田谷のお祭りといえば・・・皆様何が思い浮かぶでしょうか?そ

です、昨年まで職員の出し物として続けていた和太鼓演奏を思い浮かべる方も(何名かは)おられることを想定して書かせて頂きますのでご了承を・・・和太鼓演奏はお祭りに合う出し物として利用者の方に楽しんで頂けるものが何かできないかとの思いから理学療法士の坂本さんが中心となり始めたもので、

味も悪くないね!!



気がつけば4年連続で披露させて頂きました。おかげ様で毎年好評だったのではないかと思います。坂本さんの指導が年を重ねるごとに厳しくなり、



また彼の目指すレベルが高くなり、バチには職員の血と汗と涙が染み付いていることでしょう。

前置きが長くなりましたが、今年はその和太鼓から赴きを変えまして、職員バンド『ケアポケツ』の演奏を披露させて頂きました。『ケアポケツ』とは看護課長の玉置さんを中心に結成したギター・三線を中心とした弦楽器部からスタートしたもので、もともと職員のリフレッシュや楽しみとして何かできないかと始めた活動です。

そのメンバーにはもちろん田谷町一の大男、いやお祭り男といえば・・・そうです！彼です！和太鼓から彼が抱えるとまあなんとかわいらしい！小さな三線に楽器を変えて♪皆さんご存知の坂本さんはもちろん今年も参加しています。彼を抜きにお祭りの出し物はもう考えられません。弦楽器部の活動自体は昨年の11月位から始めたのですが、当初はお祭りでの披露は考えていませんでした。前述したとおり、もともとは職員の楽しみを目的としたクラブ活動のようなイメージで始めたもので、そういういった場や活動が厳しい現場のなか

で業務をしている職員のリフレッシュに繋がり、それが少しでも業務にも良い影響を与えるのではないかと、そこはさすが看護課長の玉置さん！が皆への気配り・心配りで始めた活動なのです。やはりシフトの都合もあり毎回メンバー揃っての練習は難しかったのですが、皆で練習しているうちに少しずつ形になり始め、利用者の皆様にも聴いて頂いてはどうかということになり、なんとそ

のデビューを施設の一番大きな行事「田谷祭り」にしてはどうかという大胆不敵な目標を立てたのです。そして弦楽器に素敵なお歌も加わりケアポケツが結成されたのです！和太鼓とはまた違った赴きでギター・三線の音色がお祭りの雰囲気にも合っていたのではないでしょうか？また、玉置リーダーがスカウトしてきた伝説のギタリスト堀内さんの魅力的なエレキギターソロや男女お歌もバランスがよく大変盛り上がったのではないかと思います。ちなみに看護師の鈴木さんと坂本さんの演奏した三線は同じ大きさです。

（深い意味はありません）次回の『ケアポケツ』の披露はいつになるかはわかりませんが、また楽しみにして頂けたらと思います。

最後になりますが、毎年本当に多くのご家族に参加して頂き、またボランティアの方にもご協力頂き今年の田谷祭りも大変盛り上がり大成功だったのではないかと思っております。本当に感謝しております。お祭りは年に一度の行事になりますが、今後もケアポート・田谷をご利用頂いている皆様に楽しい時間や心に残る思い出を提供できる様、職員一同精進して参りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

ゆく秋の寂しさ身に染みるこの頃ですが、体調を崩されないよう、どうぞお健やかにお過ごし下さい。



奇跡的な天気の田谷祭り

3階介護：高橋

今秋は悪天候な
日が多い中、秋晴れ
の10月1日（日）今





年も田谷祭りが開催されました。ご利用者やそのご家族、職員、ボランティア、厨房の皆さん等多くの方々の協力で盛大に行われました。ゲームあり記念写真あり、お祭りには欠かせない多数の屋台あり。

そして今年の職員の出し物ケアポケッツによる演奏いかがでしたか？この日のために練習を重ねてきました。フィナーレは恒例の花火大会で大きく盛り上がり幕を閉じました。

最後にご利用者からあたたかいお言葉をいただき職員一同大変うれしく思いました。また来年にご期待ください。



笑顔と感涙

2階介護：寺島

ださい。



9月16日(土)敬老会を行いました。
米寿7名、白寿2名、百寿1名のご利



用者とお祝いをすることが出来ました。お花の贈呈では「ありがとう」と元気な声が聞かれました。今年も栄桂太鼓の演奏が行われ、大きな拍手と共に涙を流すご利用者もいらっしゃいました。

やはり、太鼓の音は心に響き感動をいただく事が出来ます。

職員企画の「間違い探しゲーム」(衣装の一部を変えて利用者様にどこが変わったか当ててもらう)では普段はまじめ(?)に働いている職員が仮装している姿(多少露出度の高い物もありましたが大丈夫でしたでしょうか…)を見て爆笑あり、間違いを探すところではなかったのではないか？



「笑う」という事は健康にも良いと言われています。



これからもご利用者と一緒に楽しく笑顔のある毎日を過ごしていきたいと職員一同思っています。

「ケアポート・田谷は楽しい所だ」と言っていただけるよう、頑張っていきたいと思います。



デイケアでは毎年「田谷まつり」の写真コーナーを担当させて頂いています。

まずは壁画作りです。今年は秋の季節に誰もが馴染みのある花である「コスモス（秋桜）」のお花畠をイメージして作る事にしました。背景は絵の得意な職員の佐久間さんに

コスモスの花言葉は 「真心・調和・美しさ」

通所支援相談員：酒井



よる水彩画、そして前方のお花畠はご利用者の皆様に手伝って頂きました。花びらの一つ一つは色画用紙を使って、葉っぱはお花紙をこよりにして作りました。「お花はたくさんあった方がいいわ」「この色も素敵ね」と楽しそうに真心をこめて取り組んで下さいました。



同じコスモスの花びらでも大きさ・色・形は様々・・画用紙の花と背景の水彩画が一つの景色として調和してお花畠の写真になるのか、完成するまで不安もありました。

お祭り当日はご利用者・ご家族のたくさんの方々が口々に「綺麗ね～」と言いながら、写真を撮る為に並んで下さいました。嬉しそうな表情・照れくさそうな表情・・皆様、美しいコスモスの花以上に輝いていました。「どんな壁画だったかな～？」と思われる方、ぜひ談話室にお越し下さい。田谷の風に揺れるコスモスのお花畠がお待ちしていますよ。



地域の皆様と共に

入所支援相談員:藤本直也

ンへいつまでも安心して暮らせる地域を目指して～」を開催し、約 20 名の地域の方にご参加いただきました。

最初に私から「リハビリテーションサービス」についてお話しし、続いて理学療法士の清家伸二氏より「日常生活のリハビリテーション」について実技を交えての講義を行いま

した。

アンケートでは、多くの方から「今回の勉強会は参考になった」、「リハビリテーションを受けたい、または継続したいと思った」との感想をいただきました。今回の勉強会は2回目となります。1回目は当施設にて「介護老人保健施設(老健)を知ろう！」という内容で開催し、13名

の居宅ケアマネジャーと民生児童委員の方にご参加いただき、「施設見学」と「老健施設の今後の役割について」をお話させていただきました。今後もこのような勉強会を開催し、「地域の皆様にとって心の支えとなるような施設を目指していきたい」と思っていますので、よろしくお願ひ致します。



今年で 15 回目となる介護老人保健施設研究大会が、7 月 11 日にパシフィコ横浜で開かれました。当施設も技術・知識の研鑽を目的に、発表させて頂いています。今回は、冒頭の開会式におきまして、看介護部の発表が、昨年の優秀演題として表彰されました。

この経験を日々の業務に生かし、これからも努力していきたいと思います。

第15回 横浜市介護老人保健施設研究大会

